

## 施工業者様用〈施工説明書〉 ブラケットベース

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

### 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



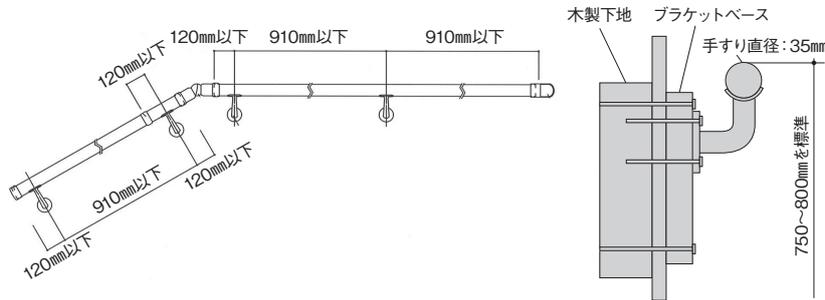
#### 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



#### 危険!

- 柱・間柱・胴縁などの堅固な下地があることを確認してご使用ください。
- 下地がない、壁面が堅固でない場所に取り付ける場合は補強材を入れて適切に取り付けてください。(補強材は、12mmの構造用合板と同様以上のものを使用してください)
- 平面ではない場所には使用しないでください。
- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- ブラケット等の手すり受け金具は、手すりが折れないように910mm以内での間隔で取り付けてください。
- フリージョイントなどの接続金具をご使用する場合は両側120mm以内にブラケット等の手すりを取り付けてください。



#### 警告!

- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- φ35mmの丸棒手すり以外にはご使用できません。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。



#### 注意!

- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは路面から750~800mmの高さに取り付けてください。
- 手すりはフリージョイント等を用いて連続して取り付けてください。

## 施工終了後

### ◆ 養生

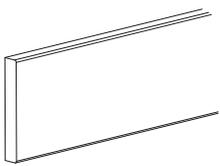
当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼りつけないようにしてください。

### ◆ お手入れのしかた

製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

## 各部の名称

ブラケットベース



出隅キャップ



入隅キャップ



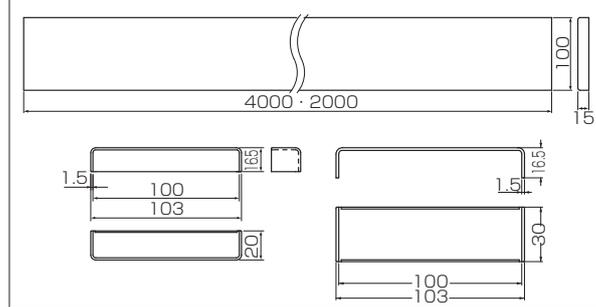
目かくしシール



ビス

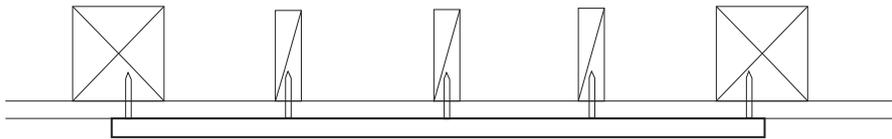


外観図



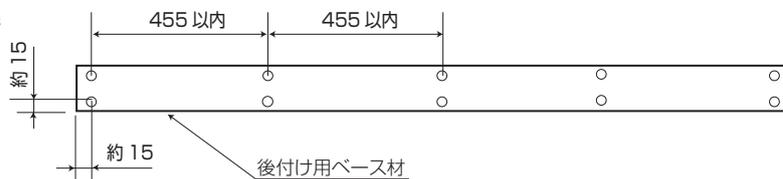
## 施工手順

- ① 手すり設置場所の壁裏の柱の位置及び状態を確認し、使用するベース材の長さ・取付けねじの位置を決めます。
- ② ベース材を必要な長さに切断します。切断面にバリや角が出た場合は、紙ヤスリ等でなめらかに仕上げてください。（端部用ブラケットベースキャップも別売にてとり揃えております。）
- ③ ベース材にガタつきがないか確認してください。ベース材と壁面との間にもガタつきがないかチェックし、ガタつきがあれば補修してください。その上到手すりをしっかりと取り付けてください。

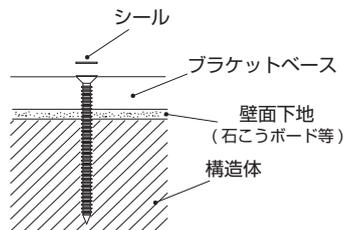


●必ず、平らで堅固な下地に取り付けてください。もし取り付けが不安定になりますと製品及び手すりが脱落、けがや重大事故につながる恐れがあります。

※取り付け穴位置目安



### 【ベース材取り付け穴加工 ブラケットベース用固定ねじ使用例】



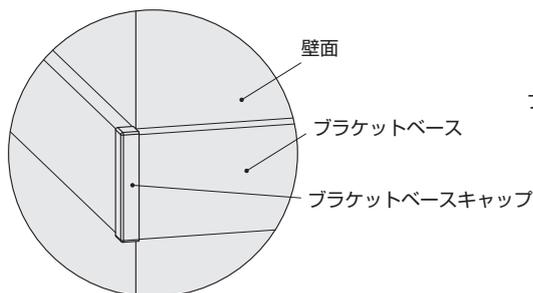
- ① ベース材の割れ防止の為に、取り付けねじ用に下穴 (φ3) を開けてください。
- ② 本製品を構造体へしっかり固定し、最後にねじ頭にシールを貼り付けてください。



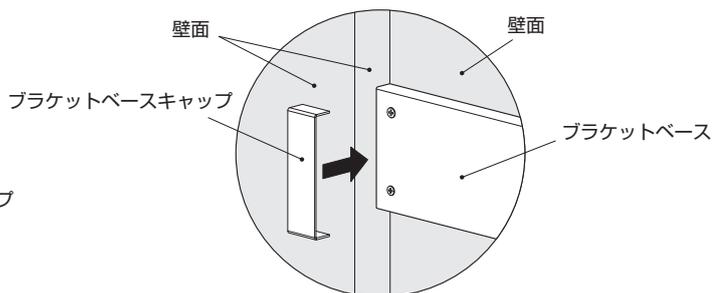
●取り付けねじは、市販の壁面センサーやプッシュ式針等を使い構造体（柱・間柱・胴縁）に確実に固定してください。

### 【ブラケットベースキャップ使用例】

- ブラケットベースキャップ (ZTBCD・ZTBCR) を付属の両面テープでしっかりと取り付けてください。



出隅の場合の施工例



入隅の場合の施工例

※商品の仕様は予告なく変更する場合があります。